

PICK UP TIP*Sの気になるイベントや裏側を紹介します。

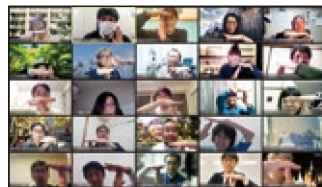
オンライン開催 2/24開催 トーキョーローカルアクションズ Vol.4:櫻井寛己さん(北区、田端)

トーキョーローカルを楽しんでいますか?

東京のローカルコミュニティに注目し、地域での新たなアクションのきっかけを作る「トーキョーローカルアクションズ」の第4弾が実施されました。

ゲストに北区・田端でコンビニ店長を務めながら、飲食店店主(タバタバー)、WEBマガジン編集長でもある櫻井寛己さんをお招きし、地域での人との関わり方や場を活かしたコミュニティづくりの変化をナビゲーターの中島さんと参加者の方々と一緒に考える場となりました。

櫻井さんの穏やかな口調と人の話をていねいに聞き、受け止める空気感がとても魅力的で、コロナウイルスが収束したら田端やタバタバーに訪れたいという声が続出した回となりました。



TIP*S RADIO

ネットで聞ける地域のリアル「TIP*Sラジオ」では、地方で新しい働き方や地域の魅力づくりに取り組んでいる方へのインタビュー動画をYouTubeにて配信中!



グッときたひと

【第132回】富山県舟橋村・岡山 史興さん
お金に支配されない関係性

FROM STAFF

今年度もTIP*S POSTをご愛読いただき誠にありがとうございました。

この1年はコロナ禍という社会の変化により、一人ひとりの考えや行動に何らかの変化があったと思いますが、TIP*Sにとっても丸の内という「リアルな場からオンラインへの移転」という大きな変化の年となりました。

今後もTIP*Sワークショップや活動の様子などを発信していきますのでどうぞよろしくをお願いします!

TIP*Sでは他にも様々なイベントを開催しています。

最新情報はFacebookやメルマガにて発信中!

Webサイトはこちら ▶ <https://tips.smrj.go.jp/>

TIP*S



Access



〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

TEL : 03-5470-1645

FAX : 03-3433-2576

E-MAIL : info-tips@smrj.go.jp

Be a Great Small.
中小機構

TIP*S とは何か

TIP*Sは、中小機構が運営する新しい学びの場です。夜を中心に多くのワークショップやイベント(丸の内・オンライン)を通じて参加者同士が対話することで、それぞれが新たな気づきや想いを胸に、自ら決断し、アクションを起こし始めています。

イベントに集まるのは、何か行動したいと感じている多彩な方々。中小企業と大企業、地域と都会など、垣根を越えた人と人との出会いを生みだし、それぞれの想いや活動を支え合う関係づくりを目指しています。

TIP*S での学び

TIP*Sのワークショップや講座は、バリエーション豊か。ひとりひとりの「一歩進みたい」を、丁寧に応援したいという思いで、さまざまな企画を考えています。

そして、イベント当日は、対話が自然と盛り上がる雰囲気づくり、さらに学びを深めたい方同士のつながりづくり力を入れています。

まずは気軽に、関心のあるイベントに参加してみてください。

多様なバックグラウンドを持つ参加者同士で話すほど、刺激を受けあってモヤモヤします。

そのモヤモヤが、自ら考え、行動するためのステップ。いつのまにか「一歩進んで」いるはず。

TIP*S

対話と出会いで、一歩が変わる。

POST

vol.20

TIP*S TALK

“ちゃんとしない”をこれからもていねいに
~TIP*Sの現在地



TIP*S TALK

TIP*Sでのワークショップの裏話や今感じていることなどをお伝えします。

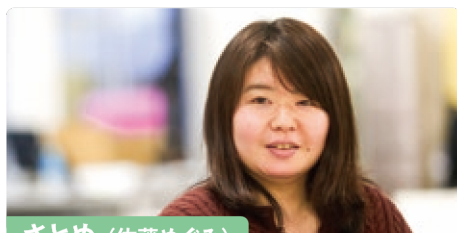


“ちゃんとしな”をこれからもていねいに～TIP*Sの現在地



2014年のオープンから6年、東京駅近くに拠点を構え続けてきたTIP*S。この4月からはオンラインを主軸とした活動にモデルチェンジします。地域との共創も視野に入れ、固定された場に縛られない新生TIP*Sの誕生です。新体制に向けて着々と準備を進める運営スタッフを代表し、だえみ(岡田恵実)となほり(片岡啓太)、さとめ(佐藤めぐみ)が今のTIP*Sの気分を赤裸々に語りました。

私が運営チームに入って最初に驚いたのは、ワークショップに参加されるみなさんとTIP*Sやだえみさんとの確固たる信頼関係が築かれていたこと。みなさんの人となりに触れる前は、オンラインでワークショップなどできるのだろうか、TIP*S独特の質感をデジタルに持ち込めるのだろうかと思っていたのですが杞憂でした。私たちも試している段階だとオープンにし、みなさんと運営側が互いに補い合う形で場が作り上げられる様子を目の当たりにして『これはいける』と確信しました。



さとめ (佐藤めぐみ)

さとめがTIP*Sスタッフに着任したのは、ちょうどコロナで世の中が混乱する真っ只中の頃でした。それまでに学びの場づくりやオンライン会議などの経験があっただけに、TIP*Sの根づく共創の風土に感激したといいます。

「TIP*Sは世代や役職などの属性から解放されて、本音で語り合える貴重な場。今まで自分が見てきた景色の向こう側に触れることができたのが、私にとっても大きな収穫でした」



なほり (片岡啓太)

TIP*Sって、ていねいに“ちゃんとしな”アプローチをしているのが他の施設と違うところ。あえて隙をつくることで、参加される方たちの主体的な交わりや、思いやりのあるコミュニケーションを生み出しているのだと思います。これまで丸の内という場所があったことで、TIP*Sの価値が限られた人にしか伝わっていなかったのかもしれない。広げることによって生まれる新たな出会いや可能性に、ワクワクしますね。

昨年、オンラインワークショップの基盤づくりを急遽担うことになったなほり。オンラインを始めたことで、地方に住む人や仕事で忙しくしている人など、丸の内の会場に足を運ばずにいた人たちの存在に気づいたといいます。

世の中とのつながりを実感し、自分らしいアクションを後押しするTIP*Sの取り組み。これからの時代にますます必要とされるであろう価値は、特定の場所を持たないことにより、より柔軟に姿かたちを変えて伝えられるはずと、なほりは話します。

今回TIP*Sが自然な形でトランスフォームできたのは、人と人が直接会うことに制約がある中でも試行錯誤を繰り返しながら、参加者のみなさんといっしょにワークショップと対話の時間をつくり続けてきたから。そして八重洲と丸の内6年間続けて来て、形は変わっても揺るがない価値や、TIP*Sを応援してくれて共創できるパートナーと関係を築くことができたからなんだと思います。

だえみ (岡田恵実)



今回のインタビューで、だえみはこの1年を「トランジション」と表現しました。コロナショックにより、デジタルを介したコミュニケーションが浸透したと同時に、私たち一人ひとりの判断や考えが試された1年でもありました。

TIP*Sを運営するうえで、社会の動きと共に人の心や感情の動きを常に意識してきたというだえみ。起業などのアクションが温泉やサウナならTIP*Sはスーパー銭湯と例え、「これからも“いい湯加減”で、温泉やサウナにチャレンジする人を後押ししたい」と、思いを新たにしていた様子が印象的でした。

WEBサイトでは紙面でご紹介できなかった部分も含め、余すところなく紹介しています。スタッフたちのTIP*S愛あふれるメッセージに触れてみてください。

本取材はオンラインで実施。撮影も十分な間隔を確保したうえで行われました。



もっと詳しいレポートは
Webからご覧下さい

